

今後の長野県の観光振興施策の 方向性について



令和7年11月28日
長野県観光スポーツ部

観光振興に関する長野県の計画・アクションプラン

- 長野県では、「世界水準の山岳高原観光地づくりの推進」をキャッチフレーズに、「しあわせ信州創造プラン3.0」や「長野県観光振興アクションプラン」に基づき、観光振興施策を実施してきたところ。
- 令和8年6月導入予定の宿泊税の活用によって目指す姿や目標、使途等を明確化した「長野県宿泊税活用計画(仮称)」を今年度中に策定する予定。

県政運営の基本となる総合計画

しあわせ信州創造プラン3.0(長野県総合5か年計画)

計画期間:5年間(R5-R9)

施策の総合的展開 3「快適でゆとりある社会生活を創造する」
3-1⑥ 「世界水準の山岳高原観光地づくりの推進」

【目指す姿】
コロナ禍で停滞した観光交流が回復し、観光産業の活性化や地域課題の解決が
図られ、暮らす人も訪れる人も楽しんでいる「世界水準の山岳高原観光地」

共通視点

宿泊税の使途等を明確化した中長期計画

長野県宿泊税活用計画(仮称)

計画期間:5年間(R8-R12)

【目指す姿】
暮らす人も訪れる人も楽しめる「世界水準の山岳高原観光地」

※現時点での目標値の考え方や使途等の概要は、
参考資料「長野県宿泊税活用計画(仮称)骨子概要」を参照

目指す姿の実現に向けた令和7年度の具体的な取組を記載

令和7年度長野県観光振興アクションプラン

「アウトドア」をメインテーマに推進

【方針①】
観光地域づくりの
推進

【方針②】
長野県観光の
プロモーション

【方針③】
インバウンド推進

令和7年度に取り組んでいる主な観光振興施策

■「しあわせ信州創造プラン3.0」に沿って取り組む3つの柱

観光地域づくりの推進

■施策推進のコンセプト

- ✓長野県ならではの「アウトドア」をメインコンテンツとして推進
- ✓自然・文化・スポーツなどを活かした体験型観光の推進
- ✓「サステナブル」及び「ユニバーサル」な観光地域づくりを展開

■ターゲット設定

地域の魅力の底上げや広域的な取組が必要と考えられるエリア

長野県観光のプロモーション

■施策推進のコンセプト

- ✓「アウトドアといえば、長野」という第一想起の獲得
- ✓デジタル技術を活用した緻密なニーズ把握とそれに応じた発信
- ✓観光客を惹きつけて逃さない「地域の魅力」の見える化

■ターゲット設定

- ✓従来のボリューム層である高齢層に加え「若年層」（30代＋Z世代）
※概ね1990年中盤～2010代序盤に生まれた若者（デジタルネイティブであるY世代に続く世代）
- ✓首都圏・東海・関西の「大都市圏」

インバウンドの推進

■施策推進のコンセプト

- ✓「量（旅行者数）から質（消費額）へ転換」
- ✓実績国・地域からの「着実な集客」と高付加価値旅行市場の「更なる開拓」の2軸で展開
- ✓長野県ならではの自然・文化体験を活かした「アドベンチャーツーリズム※」を推進

※「アクティビティ」「自然」「文化体験」のうち最低2つを含む旅行形態

■ターゲット設定

高付加価値旅行市場におけるターゲット
旅行消費単価が高い「欧・米・豪」市場のうち自然や文化・歴史体験へ高い関心を示す「セレクトティブ・ラグジュアリー層※」

※興味・関心のある事項に多くの消費を行う富裕旅行者

■ 令和7年度に取り組んでいる主な観光振興施策

観光地域づくりの推進

- 観光関連事業者の人材育成・確保及び生産性向上支援
・県内宿泊業の生産性向上のため、宿泊事業者のDX投資を支援
- サステナブル(持続可能)な観光地域づくりの推進
・「世界の持続可能な観光地TOP100」等国际的な認証取得を目指して取り組む地域を支援
- 観光客の安全・安心確保
・安全登山の啓発や山岳遭難防止体制整備等を実施

長野県観光のプロモーション

- 長野県ならではの「アウトドアカルチャーの発信」をテーマとしたプロモーション
- 大阪・関西万博を契機とした誘客
・県産品の魅力や販路拡大につなげるためのPRを実施
- 信州フィルムコミッションネットワーク推進
・WEBサイト改修等の情報発信基盤を整備し、営業力・発信力を強化
・名探偵コナンと連携したプロモーションの展開 等

インバウンドの推進

- 実績国・地域からの着実な誘客
・SNSの活用や海外での観光プロモーションイベントの実施
- 高付加価値旅行市場開拓に向けたプロモーション事業
・ツアーオペレーター向けモニターツアーの実施
・独・米・豪に設置した現地コーディネーターによる旅行商品造成促進 等
・副知事による北米セールスプロモーション



「世界の持続可能な観光地TOP100」に南信州と千曲市が選出



大阪・関西万博長野県PRブース
(8/27～8/30)



LA現地メディアによるインタビュー
(関副知事アメリカ訪問時)

しあわせ信州創造プラン3.0に関する目標値(KPI)の達成状況

- コロナ禍以降の経済活動の活発化や円安傾向によるインバウンド需要拡大等の影響により、観光消費額や延べ宿泊者数は大幅に増加。

項目	2021年 (基準値)	2023年	2024年	...	2027年 (目標値)
観光消費額 共通基準に基づく観光入込客統計(観光スポーツ部)	5,154億円	8,549億円	1兆47億円	...	9,000億円
訪日外国人旅行者の観光消費額 共通基準に基づく観光入込客統計(観光スポーツ部)	0億円	541億円	1,136億円	...	747億円
外国人延べ宿泊者数 宿泊旅行統計調査(観光庁)	6.3万人泊	149.3万人泊	234.0万人泊	...	207.0万人泊

※ 現在検討している「長野県宿泊税活用計画(仮称)」における目標設定と合わせて、しあわせ信州創造プラン3.0の目標値の見直しを検討

「世界水準の山岳高原観光地」の実現に向けた課題意識

- ① 人口減少下におけるインバウンドを意識した世界水準の観光地づくりと知名度向上
- ② 長野県が持つ強みや個性を観光資源として最大限活かす観光地づくり
- ③ イベントやキャンペーンといった一過性の観光行政から脱却した「観光地経営」への転換

これまでの取組と方向性を共有しながら、宿泊税で長野県観光の魅力の底上げを図り、
宿泊税を活用した施策と既存財源で取り組む施策、規制の見直し(緩和・強化等)や国への要望等の相互連携により
相乗効果を生み出すよう取り組みたい。

県が実施する観光振興の令和8年度の主な取組の方向性(案)

既存財源を活用した取組

観光地域づくりの推進

- 今夏の山岳遭難事故件数が過去最多だったことを踏まえて、安全登山の推進のあり方の見直しや山岳遭難防止対策の強化を実施
- サステナブルツーリズムやユニバーサルツーリズムの推進を通じて、旅行者の多様なニーズに応える観光地域づくりを支援
- サイクルツーリズム推進に向けた広報PR等を実施

宿泊税を活用した取組

- 新たな観光コンテンツの造成支援や魅力ある自然公園づくり等を推進
- 二次交通の充実や、旅行者の周遊・滞在の拠点となる宿泊施設等の整備により、誰もがストレスなく旅行できる受入環境を整備
- (一社)長野県観光機構を通じた地域DMO・観光協会の体制強化
- サイクルツーリズム推進に向けた環境整備を実施

長野県観光のプロモーション

- 信州デスティネーションキャンペーンを通じて、地域の観光資源の掘り起こしや県内周遊促進を実施
- SNSなどを活用した情報発信やデータマーケティングの体制を強化
- 長野県学習旅行誘致推進協議会において、市町村・観光事業者等と連携し、国内の修学旅行の誘致活動等を実施

- 信州DCに向けた受入環境整備(市町村交付金)

インバウンドの推進

- 欧・米・豪に加え、アジアの高付加価値旅行市場も視野に、グリーン期誘客に向けた重点的なプロモーションを展開
- 旅行者が過度に集中する特定の地域や時期からの分散を図るため、戦略的なマーケティングを実施
- 将来のリピーターとして外国人旅行者の増加を図るため、海外からの訪日教育旅行の誘致・受入を推進

- 自然・文化・歴史を活かしたアドベンチャーツーリズムの推進に向けて、国際水準のスキルを有するガイドを育成
- インバウンド誘客に向けた受入環境整備(市町村交付金)

規制改革・国への要望

- アウトドアサウナの振興、民泊の適正営業の確保(無許可・無届出営業者の取締強化)などの規制のあり方の見直しの実施を検討
- スノーリゾート形成に向けた財政支援の拡充や柔軟な制度への見直し、観光人材確保・需要の平準化に向けた国主導の働き方改革の推進等について、引き続き国への要望を実施

p.5「県が実施する観光振興の令和8年度の主な取組の方向性(案)」を踏まえ、

- 今後の取組の方向性に必要な視点・理念・考え方等についてご意見がありましたら、ご発言をお願いします
- 今後、県が取り組むべき観光振興施策について、ご意見がありましたら、ご発言をお願いします